



2024年3月期 第3四半期 決算説明会

2024年1月30日

NEC ネットエスアイ株式会社

(銘柄略称：NESIC 証券コード：1973)

取締役執行役員常務 兼 CFO

関澤 裕之

2024年3月期 3Q累計 業績サマリー

(単位：億円)

	23年3月期 3Q累計	24年3月期 3Q累計	前年同期 差/比
受注高	2,500	2,699	+8%
売上高	2,219	2,494	+12%
売上総利益 (売上総利益率)	435 (19.6%)	467 (18.7%)	+31 (△0.9pt)
販売費および一般管理費	324	342	※2 △18
営業利益 (営業利益率)	112 (5.0%)	125 (5.0%)	+13 (0.0pt)
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (四半期純利益率)	61 (2.8%)	77 (3.1%)	+16 (+0.3pt)
フリー・キャッシュ・フロー	△23	△7	+16
(参考) 受注残	1,950	2,225	+14%

増収増益

通期目標に向けて順調な進捗

受注高：

- キャリア向け厳しさを継続も、製造業や公共向け中心に拡大
 - ・ 大型案件※1も寄与(1Q)

売上高：

- 受注残の取込みもあり、高成長
 - ・ 1Q受注の大型機器案件も3Qに売上計上

営業利益：

- 成長に向けたSG&A増を吸収し増益
- 売上本格化に伴い、実力値改善が加速(次ページ)

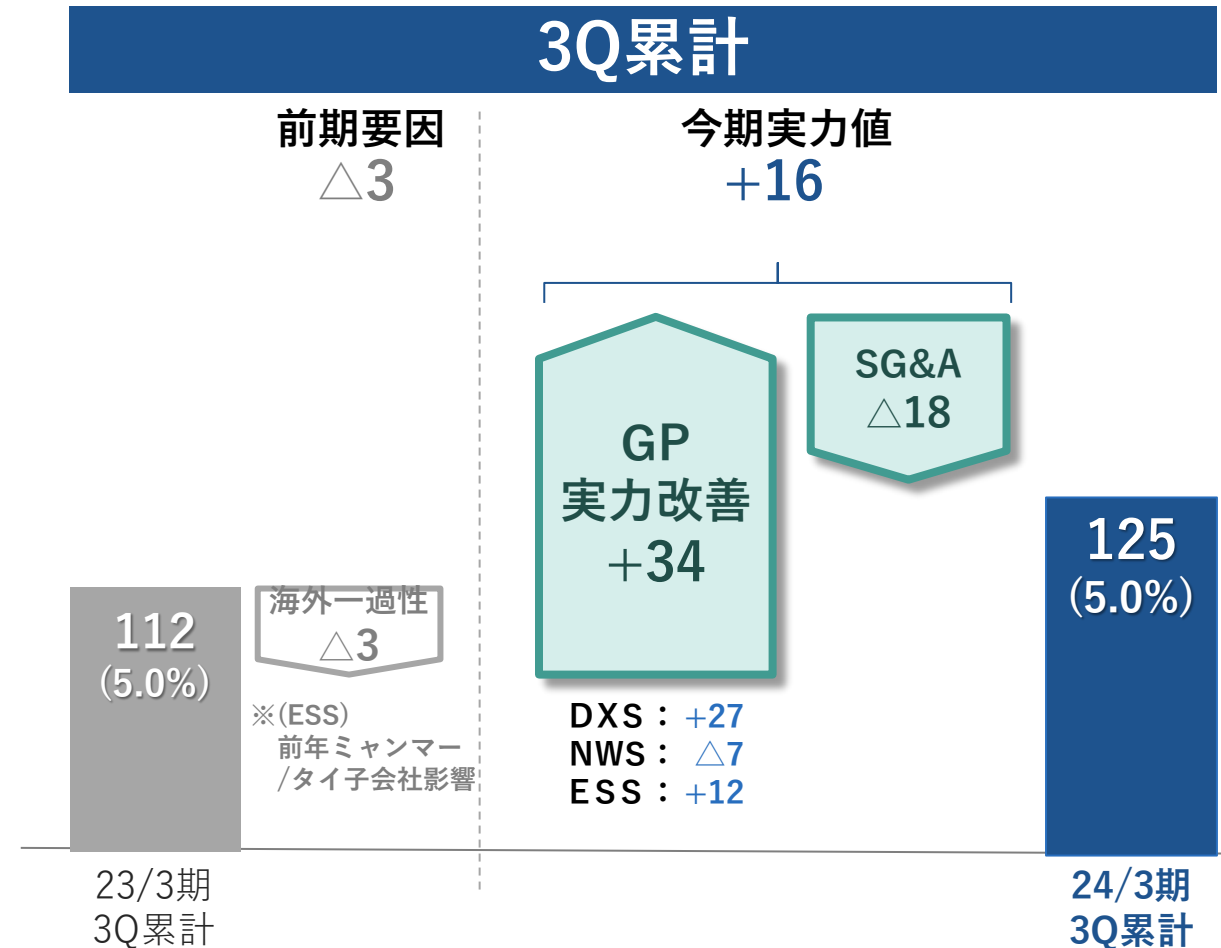
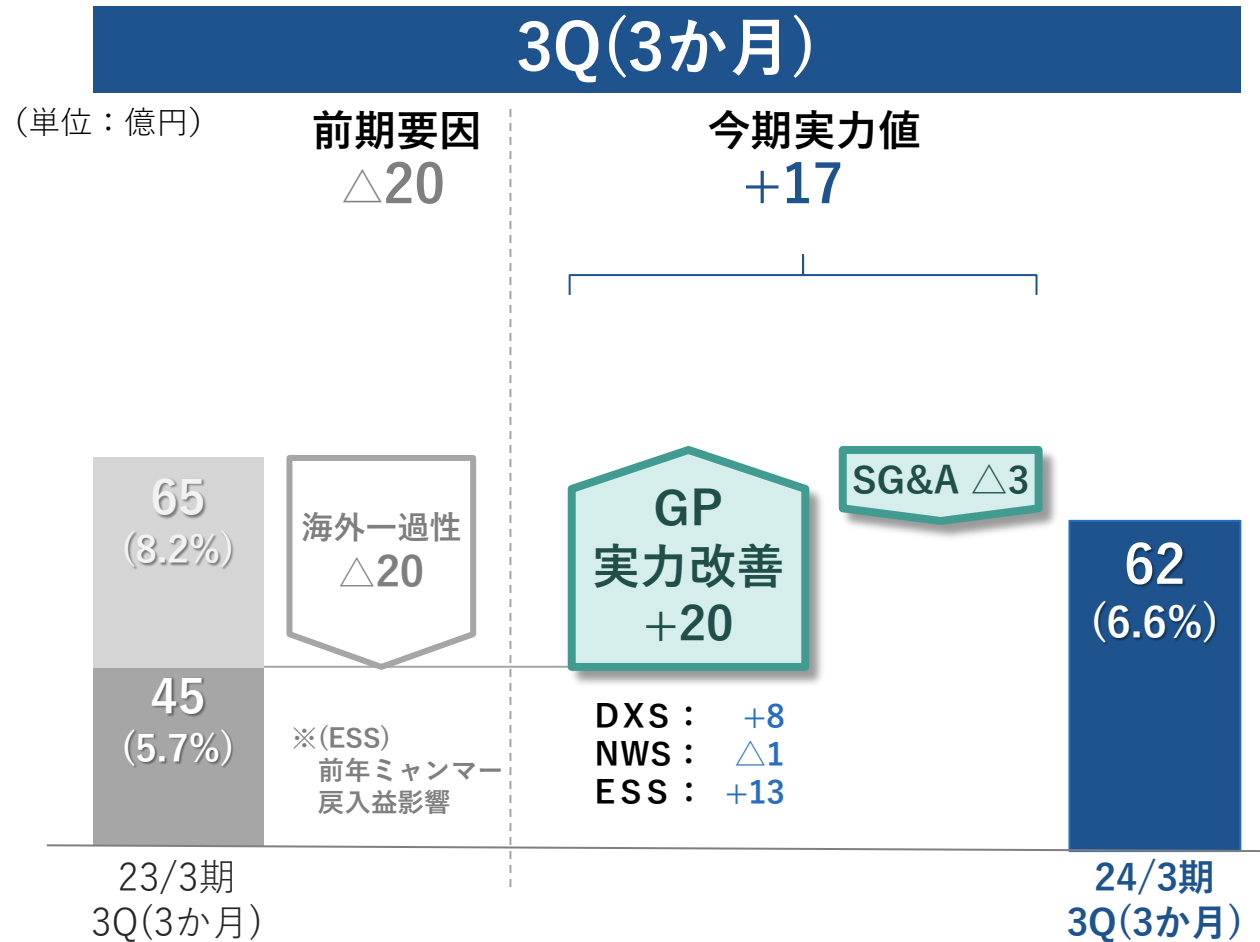
※1 官公庁向け機器、海外通信工事(サウジアラビア国)

※2 主に新基幹システム開発に係る費用や人件費増

営業利益 増減要因

売上本格化に伴い、実力値改善が加速

(1Q:△8 ▶ 2Q:+7 ▶ 3Q:+17)



2024年3月期 3Q累計 事業内容別受注高/売上高

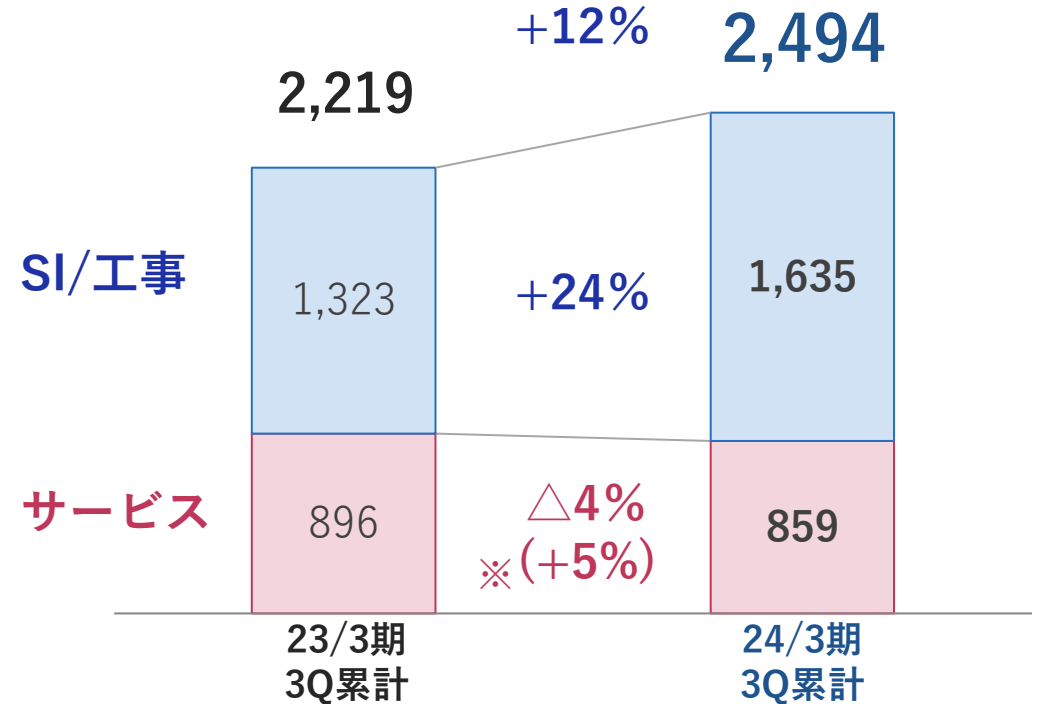
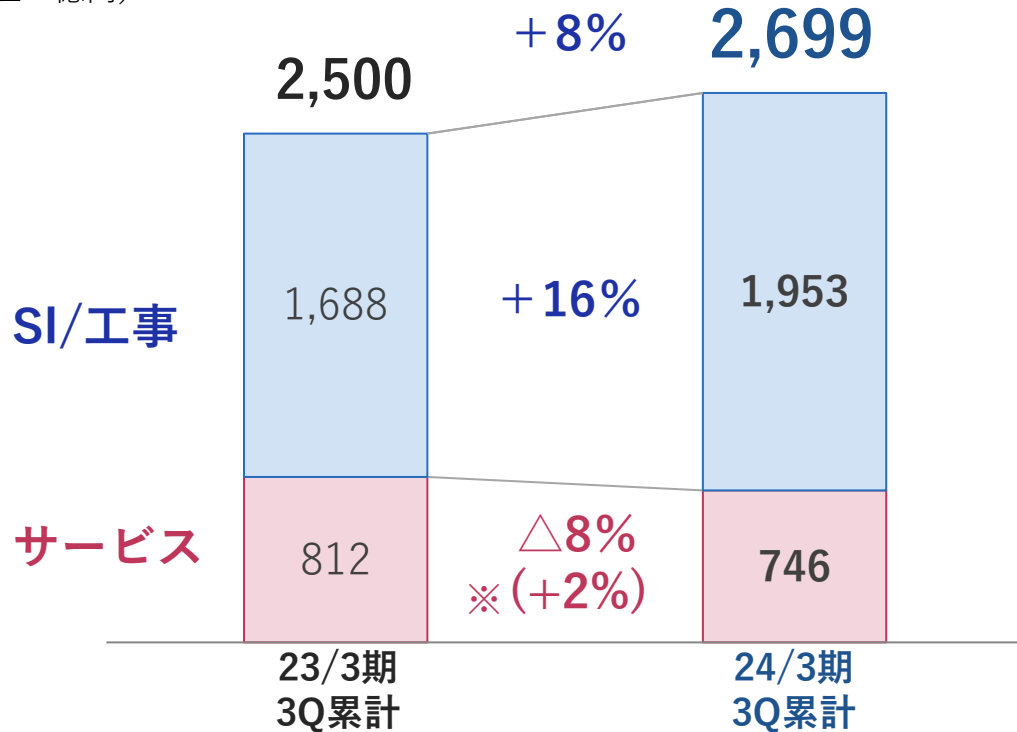
受注高：サービスはコロナ反動、キャリア向けで減少も、SI/工事は高伸長
 (DXS：コンタクトセンター子会社) (NWS) (製造業、公共+大型案件)

売上高：受注残売上が本格化。サービスもコロナ、キャリア影響除けば着実に拡大
 +大型機器案件が3Q売上計上 ※()内は、DXS子会社(QAC)ならびにNWSにおけるキャリア向けを除いた伸率

受注高

売上高

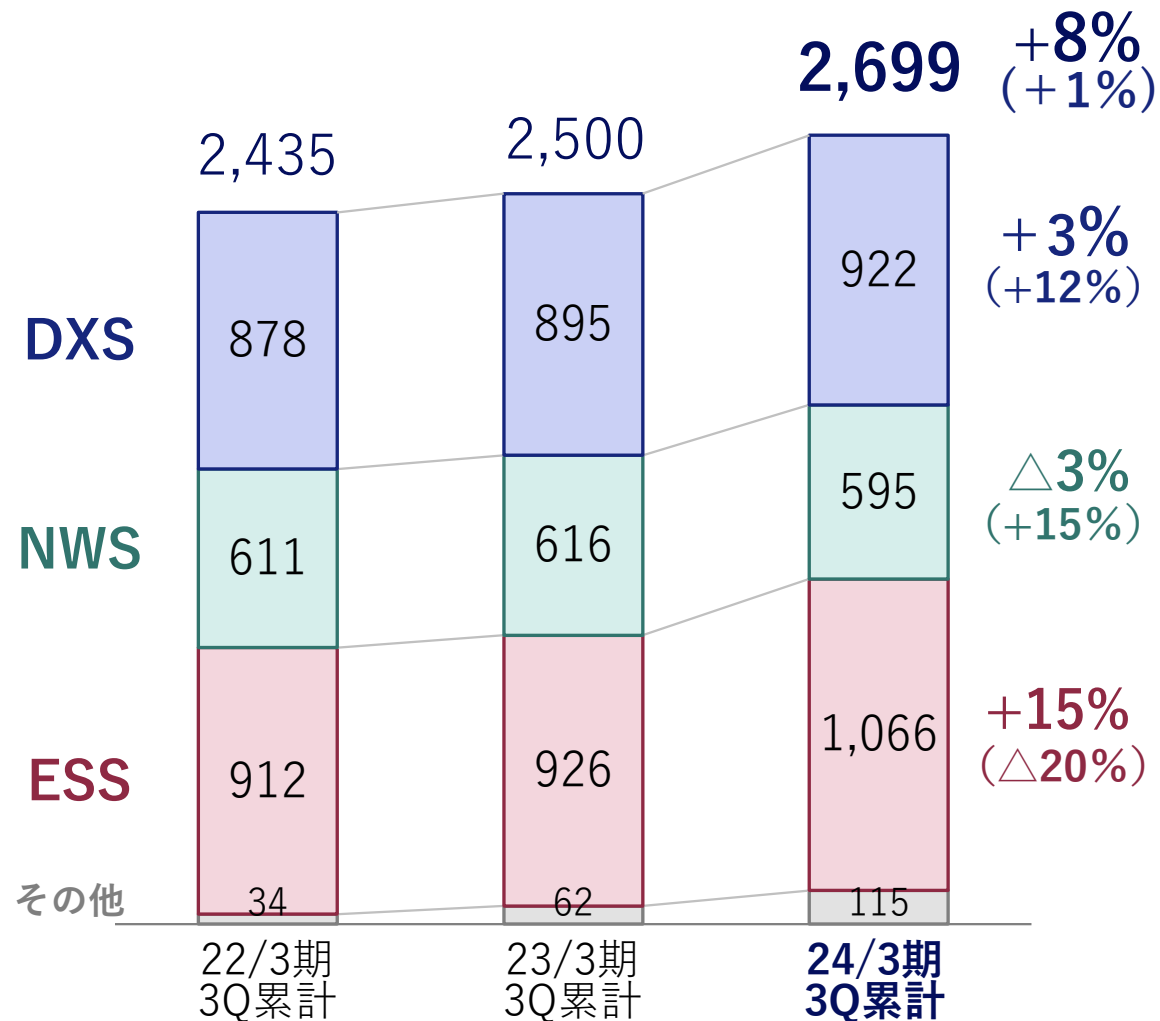
(単位：億円)



2024年3月期 3Q累計 セグメント別受注高

(単位：億円)

()内は、3Q(3か月)の伸び率



DXソリューション(DXS)

- 働き方DX、セキュリティなど注力領域拡大
 - ・ コロナ関連需要減で子会社が減少(約△25)
(3Qに入り前年差への影響は縮小)

NWソリューション(NWS)

- キャリア関連は大きく減少も、社会基盤※1、製造子会社における新札対応などでカバー
(NECマグナスコミュニケーションズ)
- ※1.宇宙防衛、海洋、放送

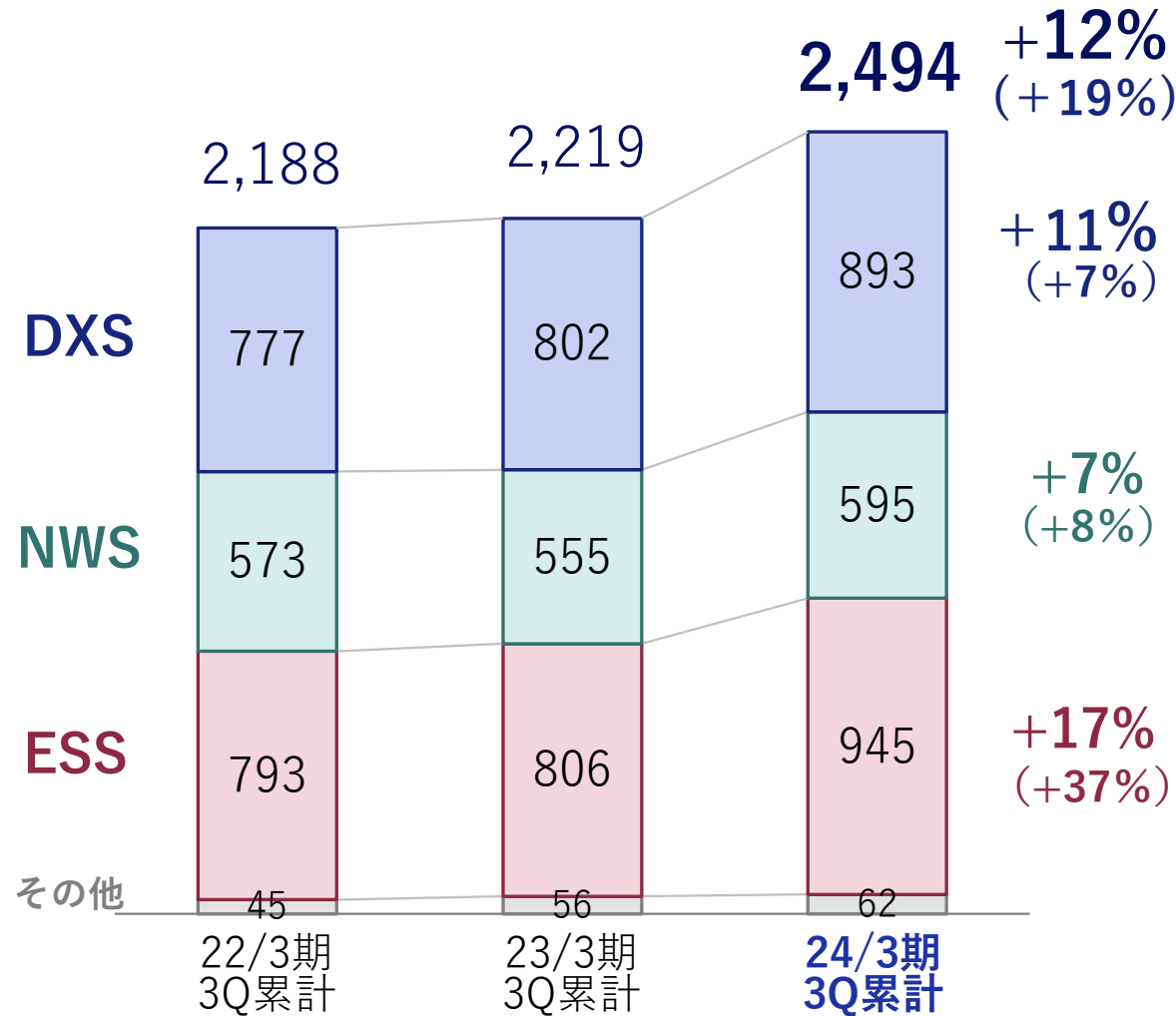
社会・環境ソリューション(ESS)

- 道路などの国内ICT施工や海外事業が拡大
- 大型案件も寄与(1Q)
 - ・ 3Q(3か月)：前年大型案件の影響(約△55)で減少

2024年3月期 3Q累計 セグメント別売上高

(単位：億円)

()内は、3Q(3か月)の伸び率



DXソリューション(DXS)

● 注力、既存領域がともに拡大

- ・ コロナ関連需要減の影響(約△25)
(3Qに入り前年差への影響は縮小)

NWソリューション(NWS)

● キャリア関連は横ばい

社会基盤の拡大、子会社新札対応が寄与

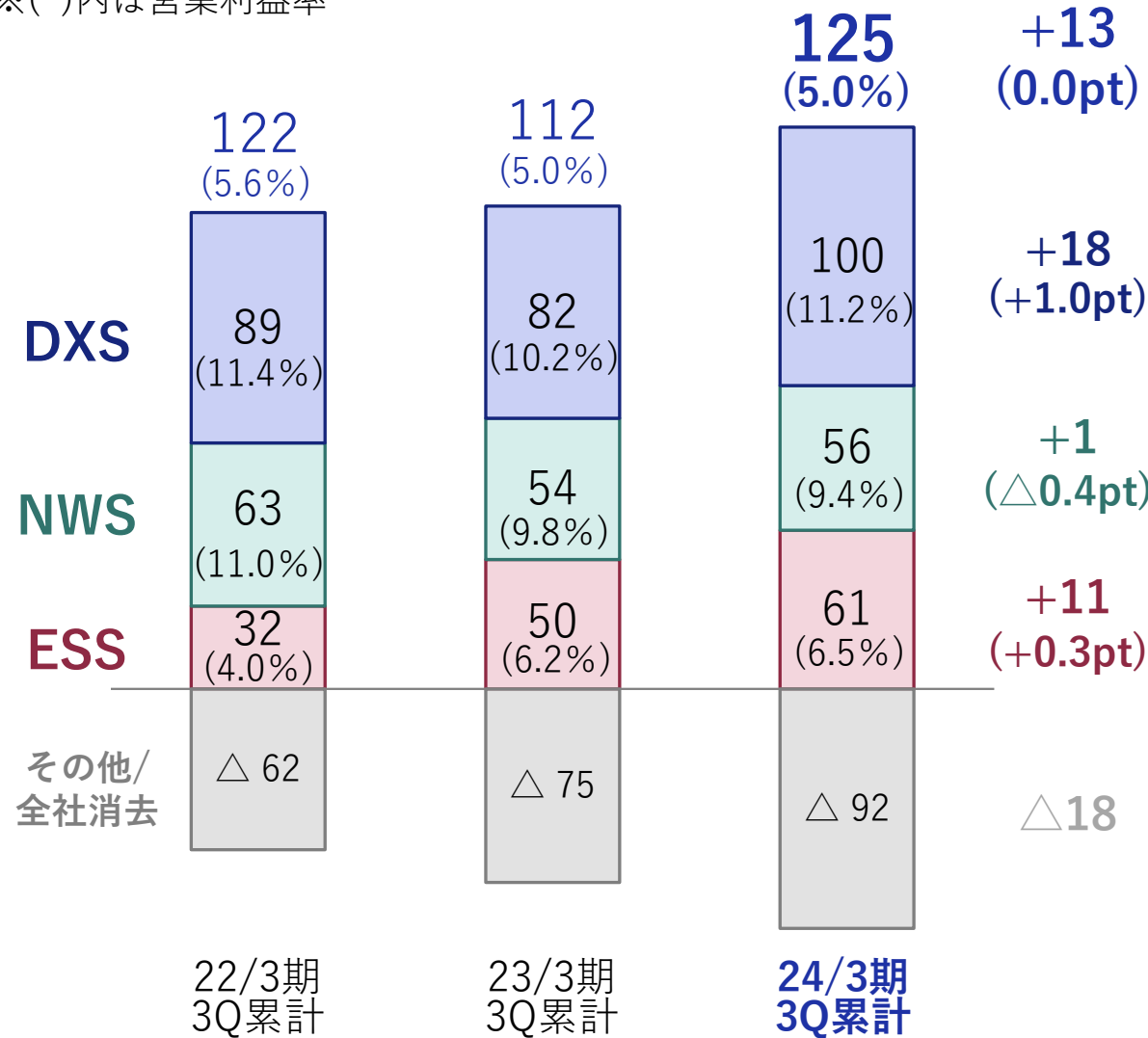
社会・環境ソリューション(ESS)

● 道路などの国内ICT施工が拡大

- 大型機器案件の売上計上(約75億円)
(1Q受注、3Q売上)

2024年3月期 3Q累計 セグメント別営業利益

(単位：億円)
※()内は営業利益率



DXソリューション(DXS)

- 売上増およびGP率の改善で大幅増益
 - ・働き方DXなど注力領域の拡大が牽引

NWソリューション(NWS)

- GP率が低下も、売上増およびSG & A効率化により微増

社会・環境ソリューション(ESS)

- 売上増の本格化により増益

その他/全社消去

- システム更新費用、人件費増などの影響

(参考)セグメント別 売上総利益率

	3Q累計			主な要因	参考：3Q(3ヵ月)		
	23年3月期	24年3月期	前年同期差		23年3月期	24年3月期	前年同期差
DXS	21.1%	21.9%	+0.8pt	<ul style="list-style-type: none"> 増収効果(固定費効率の改善) 高付加価値化の進展(働き方DXなど注力領域拡大)による売上MIX改善 	20.8%	21.9%	+1.1pt
NWS	22.8%	20.2%	△2.6pt	<ul style="list-style-type: none"> 売上MIX悪化 (キャリア投資抑制に伴う好採算事業の減少、先行的な機器案件の増加) 	23.7%	21.3%	△2.4pt
ESS	17.3%	15.7%	△1.6pt	<ul style="list-style-type: none"> 大型機器案件の影響 	24.3%	16.0%	△8.3pt (+0.7pt)
全社	19.6%	18.7%	△0.9pt		22.3%	18.8%	△3.5pt (+0.1pt)

※前年マンマー戻入益や、
大型機器案件の影響除く

ネットワークソリューション事業の状況について

大手キャリアの設備投資抑制の継続を前提とした体制の再構築と社会基盤分野で事業の拡大を図る

現況

- 大手キャリアの投資抑制は継続
 - ▶ 更なる構造改革を推進中(今期目途)
 - NCC向け拡大
 - 社会基盤分野の拡大に注力も本格化は来期
 - 新札対応需要（製造子会社）
- 今期機器先行
(売上MIXに影響)

今後の方向性

- 投資抑制は継続も構造改革効果の顕在化で**収益性回復**
 - NCCの更なる**深耕**
 - 社会基盤分野が**本格化**
(リソース強化の効果最大化)
 - 新札対応需要は継続
- SI領域拡大
(売上MIX改善)

※NCC：大手4キャリア以外の電力系通信事業者やISPなど

2024年3月期 業績予想値について

(単位：億円)

	23年3月期 実績	24年3月期 予想	前期差/比
受注高	3,560	3,700	+4%
売上高	3,208	3,500	+9%
営業利益 (営業利益率)	228 (7.1%)	240 (6.9%)	+12 △0.2pt
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	138 (4.3%)	140 (4.0%)	+2 △0.3pt

**セグメント毎に強弱も、
順調な進捗
現予想からの積上げを目指す**

足元の状況を踏まえて、セグメント予想は修正
(次ページ)

2024年3月期 通期 セグメント別業績予想

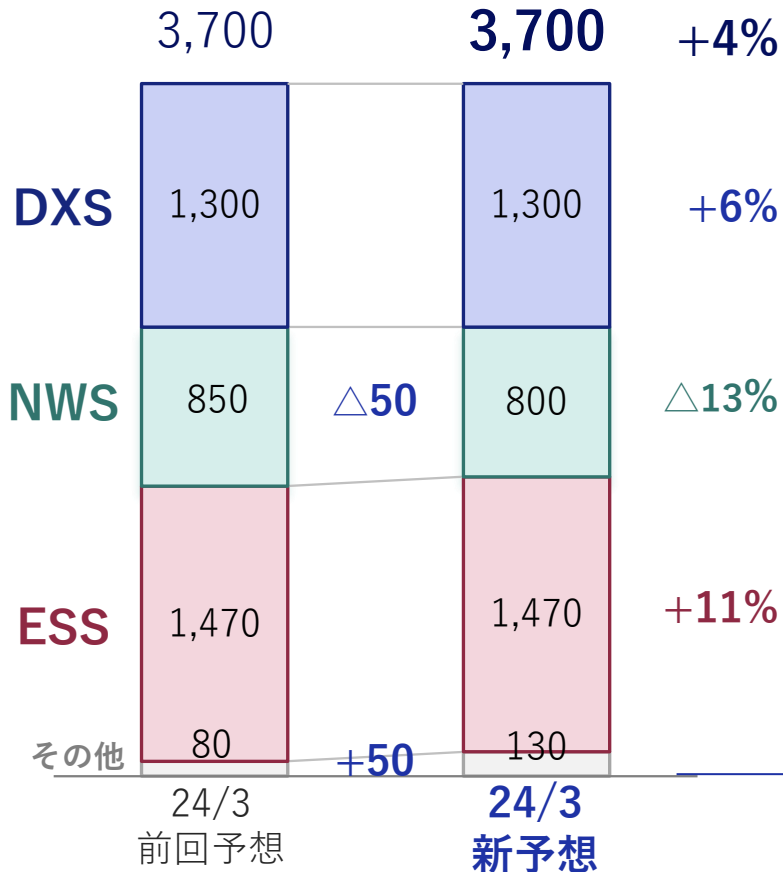
受注高

(単位：億円)

前回差

± 0

(参考)
前年伸率

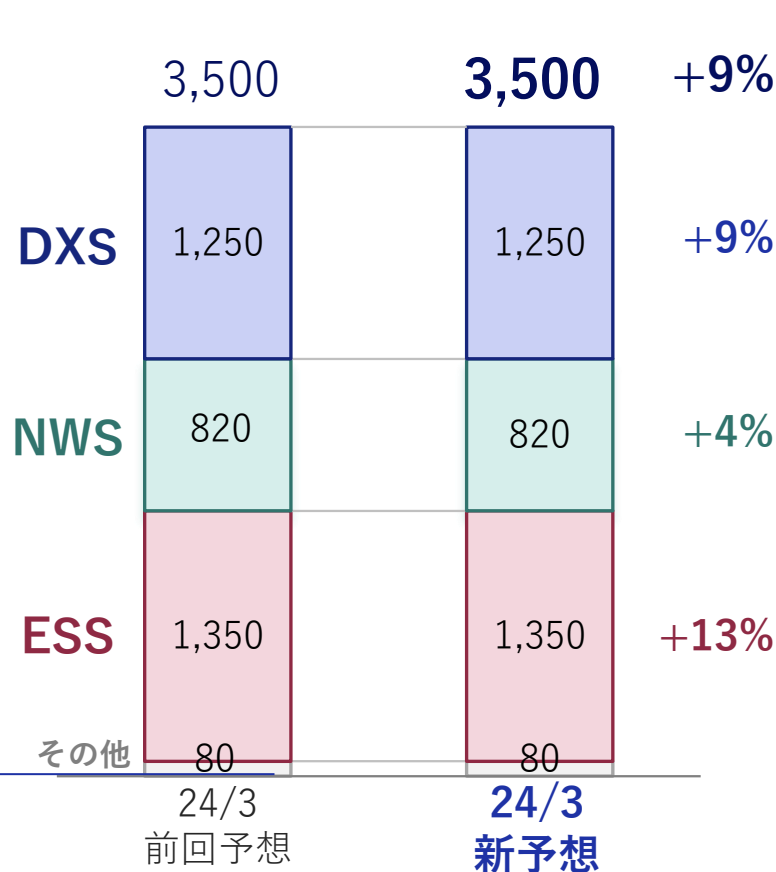


売上高

前回差

± 0

(参考)
前年伸率



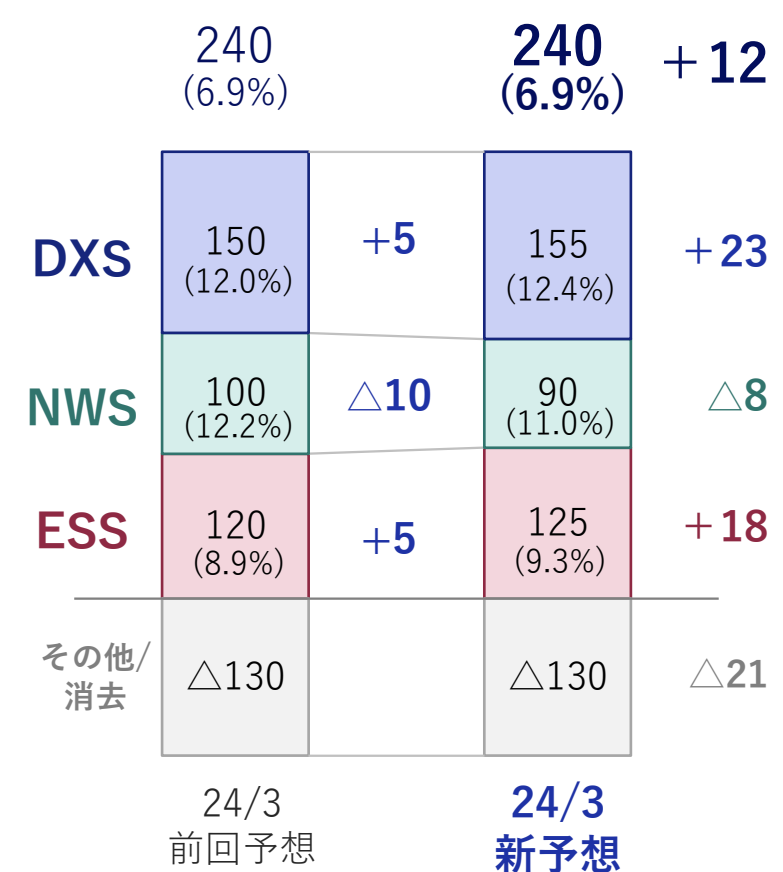
営業利益

()内は、営業利益率

前回差

± 0

(参考)
前年差



(参考) 補足データについて

以下のURLに補足資料を掲載しています。

- ・ 過去からの財務諸表
- ・ 新旧セグメント別業績推移
- ・ その他参考データ
(セグメント別受注残、事業内容別・マーケット別データ)

<https://www.nesic.co.jp/ir/library/kessan/2024.html>

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

本資料にある大型案件や特殊要因の影響などは概数で表記されています。

2022年4月1日の組織改正に伴い、2023年3月期よりセグメントを変更しています。本資料における2022年3月期のセグメント実績は、これを受け、セグメント情報の比較のために組替えた数値で示しています。



明日のコミュニケーションをデザインする

NEC ネットズエスアイは、お客様の目線に立った
これからのコミュニケーションをデザインする会社
としてお客様の価値向上に取り組んでまいります。

nesic

検索

\Orchestrating a brighter world

NEC

NEC ネットズエスアイ